

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第118号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2012年9月号



【 今月のコンテンツ 】

- 中小企業見学ツアーの報告 芝 忠 …………… 1、2
- 「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の報告 …………… 2、3
- スターリングエンジン講演会案内及び事業開拓報告 鶴野 省三 …………… 3、4
- オフィス架け橋【連載9】行政書士 特定社会保険労務士 松田 健 …………… 5
- 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 …………… 5、6、7
- 事務局コーナー …………… 8

平成24年中小企業見学ツアーの報告

芝 忠

平成24年度第1回中小企業見学ツアーが9月6,7日、神奈川・東京の企業見学及び三浦海岸マホロバマインズでの宿泊研修交流会として行われ、関東学院大生28人、福井県立大生1人が参加（うち女性が8名）、交流会には見学先企業経営者6人など合計40人が参加しました。

見学先は、初日が宝電機工業(株)（横浜市緑区）、(株)山喜（横浜市金沢区）、翌日が(有)原田運送（横須賀市長井）、NPOサポートクラブ友の会（川崎市麻生区）、(株)ピーススタッフ（東京都中央区銀座）。各社では経営環境の厳しさのなかでも経営のトップが情熱と創業の夢やロマンを語り、今後の展望を示しました。

学生の多くは中小企業の現場を見たことがなく、大企業の単なる下請け、独自性がない、経営基盤が弱くて処遇も悪いという、暗いイメージを持っている人が多かったようです。しかし全員が「イメージが変わった」といい、「大企業と同じように重要な仕事をしている」「独自の技術を持っている」「自分の仕事に誇りと熱意を持っている」「社員が明るく社長との距離が短い」「社内に暖かい雰囲気があり、人柄の良さにも感動した」「中小企業で働いてみたいと思った」などの感想がだされました。銀座の派遣会社でも正社員として雇用し、スキルアップして、大手企業に派遣しており、常に勉強している様子が社員からも紹介されました。

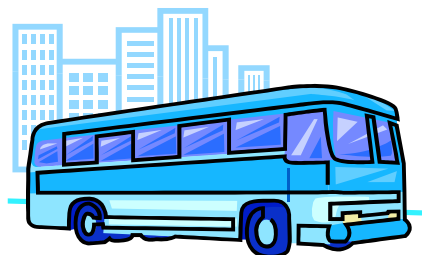
この中小企業見学ツアーは、平成22年度から開始され、新潟の「先端技術研究会」と組んで、新潟企業4社、新潟県出身学生など9名(うち女性3名)、翌年は神奈川県内企業5社、学生は17名(うち女性は7名)。交流懇親会では、いずれも経営者が親しく歓談するところが魅力で、二次会では遅くまで話し込む姿が印象的でした。

本ツアーは直接的な「就活」ではなく、あくまで、日本経済のなかで果たしている中小企業の重要性を理解し、将来、大企業や公務員に入っても、中小企業の役割を認識してもらい、あるいは「就活」の対象として改めて中小企業を選択肢の一つとして考えるということが目的です。また具体的な働く場を見ることにより、「社会人」としての自覚を高めることも効果の一つです。経営者の方々には、経費を自ら負担しつつ、学生との交流や、討論を通して、学生の間違った中小企業観を変えさせる試みに賛同していただき、感謝です。

大学側も想像以上の効果が現れるので大変びっくりし、また事業の推進に大いに貢献していただいています。キャリアセンター(就職部)職員の研修にもなっています。

通常の就活では会社の人事や総務の担当が面接することが多く、経営のトップから親しく創業の苦労話を聞くという機会は滅多にありません。入社前にアルコールを入れながら、自由な懇談は学生にとっても大変魅力的な場です。さらに学生側も他学部の学生と知り合うチャンスですし、友達をつくる機会ともなり、非常に好評です。今回は募集開始3日間で定員に達したというのも、就活の厳しさだけでなく、先輩・友人のクチコミも影響しているようです。

筆者は関東学院大学で12年間「地域経済論」や「中小企業論」を担当し、学部授業の中で中小企業の見学を取り込んできましたが、ようやく見学の重要性が学生や大学に理解されてきたのかなと思っています。今回は想定以上に学生が応募したので、事業予算面では厳しい状況ですが、今後も継続したいと考えています。



★ 先月号より記載を始めました「新事業・新技術支援フォーラム」は2011年度分に遡って皆様にご報告いたしております。

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の経過報告(その2)

異グ連事務局 松井利夫

2011年8月30日開催の第4回フォーラムは下記の二について議論がなされました。

①<スターリングエンジンの現状と将来性>

パワーポイントを使って、鶴野氏よりスターリングエンジンの現状について説明がありました。詳細は省略しますが、興味のある方は配布資料「なぜKAIHOエンジンか」に記載されていますので事務局に問い合わせてください。次に、再生可能エネルギー特別措置法が2011年8月26日に可決・成立したとの報告があり、合わせてスターリングエンジンに関係の深いバイオマスについて説明がありました。バイオマスをスターリングエンジンに利用する技術力には問題があり、まだ未開発の様です。栗山氏からは、内閣官房国家戦略室の梶山恵司内閣審議官のインタビュー記事の紹介があり、バイオマスを熱源として使用することは難しいが、利用していこうという意見を持っていることの説明がありました。鶴野氏からは、バイオマスの原動力化については有効利用のための新たな方法(技術)を国家戦略として開発しなければならないとの発言がありました。

スターリングエンジンに関して、現在の技術的課題は何かとの質問に対しては、弁とピストンリングの摩擦の問題が最大であるとのこと。鈴木氏からは、ピストンの摩擦を少なくするためにペローズの研究を考えたかどうか、との意見が述べられました。鶴野氏は、この問題解決が先決であるが、そのためには、近く発表されるNEDOの補助金次第である。お金を貰わなくてもいろいろなことが出来るのでNEDOが駄目でも焦らずにやりたいとのことでした。今後の開発に関しては「開発推進会議」で検討していくが、いろいろと協力して頂ける方が参加できるようにすることが必要であるとの発言がありました。

芝氏からは、技術的課題を整理して貰いたい。どうすれば神奈川県庁を動かせるかは、異グ連の仕事でもあるとの発言がありました。

②＜次回以降のテーマと運営について＞

鶴野氏からは、我々の目指しているエンジンは数10KWのものであるが、5,000万円の補助金が貰えたら、平成24年3月末までに5KWのモデルを作ろうと考えている。その次は20KWへと進んでいきたいが、ピストンリングの摩擦問題が大きな課題である。それに対して遠藤氏から、今の材料研究が必要であるとの意見がありました。

鶴野氏は事業化できるレベルに入ってからでないと言えないが、NEDOから、5,000万円下りたら、9月にエンジンの設計図を書いて10月から製作に着手、12月末完成させてシステムを組む。2月末までに結論を出したいとの発言がありました。今回は、次回以降のテーマと運営についての話し合いはありませんでした。

(追記：2011年9月2日にNEDOの補助金が承認されています。)



2012.9.8 NPO 日本スターリングエンジン普及協会

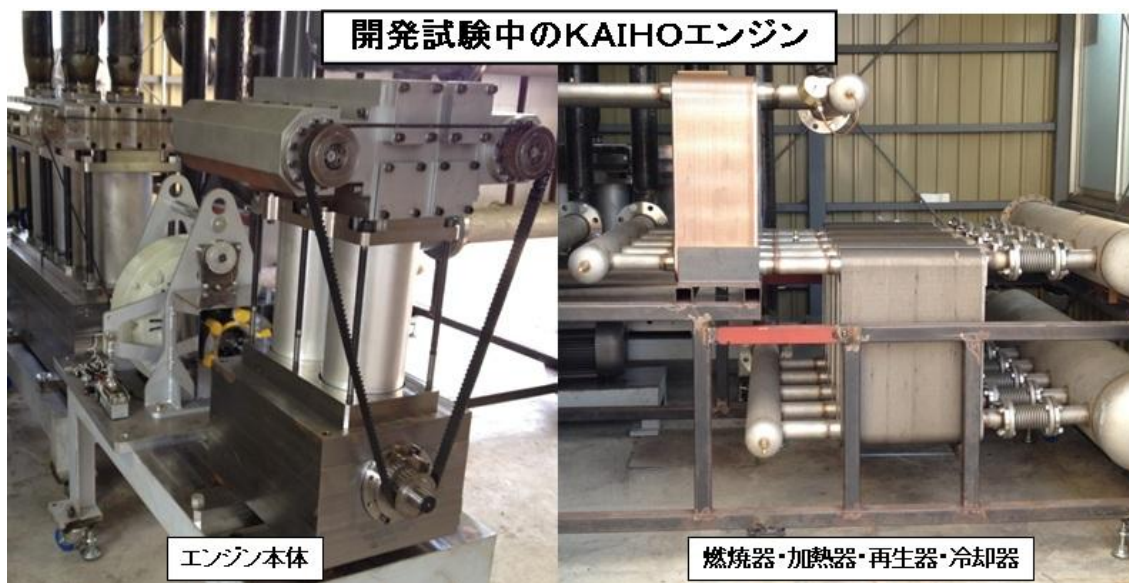
鶴野 省三

第6回スターリングエンジン講演会（10月30日開催）ご案内
 ……スターリングエンジン事業開拓の現場報告……

電力固定価格買取制度（FIT制度）の発足にともない、再生可能エネルギーの普及促進への関心が高まってきております。NPO日本スターリングエンジン普及協会では創設以来化石燃料依存の低減とCO2削減を目的に、バイオマスや廃熱を有効に利活用できるスターリングエンジンの開発研究ならびに事業化推進活動を行ってきております。とくに直接燃焼によるスターリングエンジン発電は、国の「バイオマス事業化戦略」展開の有力方式になると考え注力しているところであります。

NPO日本スターリングエンジン普及協会（東京都千代田区）は第6回目となるスターリングエンジン講演会を開催します。「スターリングエンジン事業開拓の現場報告」と題して各分野の特筆テーマをピックアップ、「エネルギー俯瞰学」が必要な時代」と題しての基調講演（電力中央研究所 浜松 照秀氏）をはじめとして、実際のスターリングエンジン事業開拓の現場からのテーマを取り上げております。

掲載写真は、開発中のKAIHOエンジン（新型外燃機関）や木質ペレットと組み合わせたMOMOSEエンジンで、いずれもバイオマスを直接燃焼発電によって活用するものであり、それぞれ公的補助金を受けて実用事業化を目指すべく日々努力しております。





【講演会概要】

1. 日時：平成24年10月 30日(火) 13:00~17:00
2. 場所：都道府県会館402号室(千代田区平河町2-6-3)
◎地下鉄 半蔵門線・有楽町線・・・「永田町駅」下車、徒歩1分。
3. プログラム：
 - 基調講演「FIT制度と電気事業大衆化時代の課題」
(財)電力中央研究所 名誉特別顧問 浜松 照秀氏
 - 小型スターリングエンジン搭載木質ペレットストーブ発電システムの開発
(平成24年度NEDO新エネルギーベンチャー技術革新事業での取り組み)
明星大学 教授 濱口 和洋氏(当協会理事)
 - 新型外燃機関(KAIHO エンジン)の実用化
(鶏糞の直接燃焼による熱電併給システムの事業化)
石渡コンサルティング代表 石渡 草平氏(当協会理事)
 - アジアにおけるスターリングエンジン市場開拓とビジネス拠点作り
(環境省「二国間オフセットクレジット制度実現可能性事業」の推進)
(株)プロマテリアル 代表取締役 齊藤 正倫氏(当協会理事)
 - 動き出した米国INFINIA社のスターリングエンジン生産

INFINIA Corp. アジア地区ビジネス開発担当部長 鈴木 年雄氏(当協会理事)
4. 参加費：一般：8,000円；会員：7,000円
※事前登録(10月22日までに申込及び会費振込)：一般：7,000円；会員：6,000円
5. 参加申込：参加申し込み用紙に所定の事項をご記入の上、いずれかの申込先にお送り下さい。
 - ①郵送の場合・・・〒101-0047 東京都千代田区内神田1-12-12(秋葉武志公認会計士事務所内)
NPO日本スターリングエンジン普及協会宛
 - ②e-mailの場合・・・info@eco-stirling.com
 - ③FAXの場合・・・03-3294-5062<お問合せ先>NPO日本スターリングエンジン普及協会事務局：
〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目4番2号 Tel. 03-6412-9964 FAX: 03-3294-5062

オフィス架け橋

行政書士 特定社会保険労務士

松田 健

<http://kakehashi-yokohama.web.officelive.com/shiminhou.mu.aspx>

【 連載 その9 】 使い勝手のいい就業規則にするためのポイント<別規定>

【 別規定 】

就業規則で大枠を示し、詳細は別規程とする。就業規則に定めるべき内容は、非常に多岐にわたっています。就業規則にすべての内容を羅列すると、条文数も膨大になり、かえってわかりにくくなる可能性があります。そのため、本則と詳細な内容を伴う別規程とを分けて作成する方法が一般的で、利便性も高くなります。ポイントは、詳細な内容の記載が必要であるなど、その分量がある程度多くなる場合は、別規程とするのがよいでしょう。

賃金規程、退職金規程、育児・介護休業規程、慶弔見舞金規程などを別規程とすることが一般的です。また、従業員の身分によって適用する規則や条件が違うときは、パートタイマー就業規則や嘱託社員就業規則などを設けるのがわかりやすく、トラブル防止にも役立ちます。

別規程を設ける場合、就業規則の内容を統一的に把握できるように注意する必要があります。就業規則の本則に根拠となる規定を必ず置くといでしょう。具体的には、本則に「賃金については別に定める賃金規程による」とか「パートタイマーについては別に定める」となどのように記載して、別規程があることを明らかにします。

なお、本則と別規程をすべて合わせたものが「就業規則」となりますので、本則だけでなく、別規程の一部を変更したような場合でも就業規則の変更届が必要です。諸規程が矛盾しないように気をつけましょう。

【 法令順守 】

就業規則の規定は、法令に反してはなりません。法令とは法律、命令のほか、地方公共団体が定める条例、規則等の自治法規も含まれます。就業規則のなかに法令に反する記載があると、その部分は無効となります。

就業規則の規定の適用、解釈をめぐって会社側と従業員の間で紛争の生じるケースは相当数にのぼります。就業規則の制定、変更は慎重に行いましょう。

従業員の過半数代表者からの意見聴取
就業規則の作成（変更）にあたって、使用者は従業員の過半数を代表する者から意見を聴く必要があります。ここで従業員とは、正社員、契約社員、パート、アルバイト等その事業場に雇用されているすべての者をさします。ただし、その事業場に従業員の過半数で組織される労働組合がある場合は、労働組合の意見を聴かなければなりません。意見聴取義務に違反すると罰則が設けられています。

従業員の過半数代表者になれない人もいます。「従業員の過半数を代表する者から意見を聴取する」のは、従業員の団体意見を求めることです。従って、次のようなかたちで選ばれる場合は、従業員代表としての適格性がありません。

①事業主の一方的な指名による場合
②親睦会の代表者となる場合
⑦一定の役職に就くことで自動的に兼ねる場合

従業員の過半数代表者は、従業員の投票による選挙、挙手、回覧など民主的な方法で選出されなければなりません。

なお、管理監督者は従業員の過半数代表者にはなれません。

【 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 】

< 第11回 K I P トップセミナー開催 >

- 【主催】 公益財団法人神奈川産業振興センター (K I P) [URL:http://www.kipc.or.jp/](http://www.kipc.or.jp/)
- 【日時】 10月3日(水) 16:00~18:00 (開場 15:30)
- 【場所】 関内ホール「小ホール」横浜市中区住吉町4-42-1 TEL: 045-662-2050
- 【講演】 イシハラクリニック院長: 石原 結實 氏 「クスリのいらぬ健康法」
- 【会費】 2,000円 (K I P会員無料) 150名先着順
- 【申込】 FAX: 045-633-2556 又はE-mail: kipmember@kipc.co.jp

< 第132回・日韓ビジネス協議会 >

高橋 導徳

【日 時】：2012年9月26日(水) 午後3時00分～5時15分 協議会
午後5時15分～6時15分 懇親会

○特別講演・・・「消費税の増税」について

*平成26年4月に8%、翌年27年10月には10%

経営に与える影響と自己防衛のための対策。 堀内会計事務所 税理士 堀内龍文氏

○韓国・永進専門大学の最近の活動について

東京事務所 所長 西 正人氏

○メイン講師・・・講演タイトル：「中国ビジネス文化」

株式会社シー・コミュニケーションズ 代表取締役 大羽りん氏

要旨： 中国ビジネスで欠かせないのは中国人の考え方や行動パターン、コミュニケーションの仕方を理解すること。中国人が大事だと思っているものを知ること。またビジネスシーンでも考え方の違いを知ることが大切です。特に日本人と中国人の違いに注目してご紹介します。

【 テクニカルショウ ヨコハマ 2013 の出展ご案内 】

神奈川県下最大の工業技術・製品総合見本市（第34回工業技術見本市）であるテクニカルショウ ヨコハマ 2013の受付が始まりましたのでご案内します。

【開催日】 2013年2月6日（水）～8日（金）

【申込先】 公益財団法人神奈川産業振興センター総務・企画部事業課

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川県中小企業センタービル5階

TEL：045-633-5170 FAX：045-633-2556

E-mail:info@tech-yokohama.jp

【出店申込み締切日】 2012年10月5日まで

社団法人横浜市工業会連合会

〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業センタービル2階

TEL：045-671-7051 FAX：045-671-7321

【 企業経営者に話を聴く 】 予告

< 異グ連スタッフ勉強会 >

10月1日(月) (株)サンフォーレ 代表取締役社長 堀井 利彦 氏

<コンサルタント集団C&Sセミナーのご案内>



主催：「C&Sグループ」（異グ連会員）
後援：神奈川県異業種グループ連絡会議

1. セミナー名称： 「公的補助金獲得の秘訣」
開催日時： 平成24年11月21日(水) 14:00~17:00
開催場所： かながわ県民活動サポートセンタ406会議室
講師： 松井利夫氏 受講料： 1000円(会場費・資料代)

詳細につきましては後日ご案内いたします。

2. セミナー名称： 「5S活動による職場改善」（仮称）
開催日時： 平成25年1月23日(水) 14:00~17:00
開催場所： かながわ労働プラザ第5会議室
講師： 加藤文男氏 受講料： 1000円(会場費・資料代)

3. セミナー名称： 「海外進出に伴うトラブル対策」（仮称）
開催日時： 平成25年3月6日(水)又は13日(水) 14:00~17:00
開催場所： かながわ労働プラザ第5会議室
講師： 山本俊夫氏 受講料： 1000円(会場費・資料代)

【 戦略経営（異業種交流・中小企業向け全般）相談の受付について 】

神奈川県異業種グループ連絡会議（異グ連）は、現在の厳しい経済環境の中で頑張っている中小企業を対象に、長年蓄積してきたデータやノウハウを異グ連の交流アドバイザー（中小企業診断士、社会保険労務士、技術士、神奈川県職員OB、大手企業のOB等で構成されている経営コンサルタント）が戦略的経営手法をテーマに中小企業経営者の皆様の支援を数年前からスタートさせています。相談料も初回無料ですのでお気軽にお問い合わせください。

<相談窓口> 神奈川中小企業センタービル5F内 かながわ異業種交流センター
横浜市中区尾上町5-80
TEL：045-633-5142 FAX：045-633-5194

<受付時間> 10:00~17:00（土、日、祭日休み）

<相談テーマ> 1、異業種交流（新連携・商農工・開発関係など含む）支援

2、産学官交流支援

3、新分野（新事業）進出支援・業態変更支援

4、関連団体・グループ連携支援

5、地域間交流支援

6、M&A支援

7、国際交流支援

8、起業支援

9、ものづくりに関する支援

10、個別経営相談（助成金・経営革新・財務指導・人材研修など）

11、研修・講習等の講師派遣

12、その他支援

相談料:初回無料、その後についてはご相談（実費程度）となります

産学官交流サロンコーナー (お申し込みは下記まで)

	尾上町サロン	西湘サロン 第41回	三浦半島経済人サロン 第52回	神奈川新産学公交流 サロン横浜 第52回
日程	10月5日(金) 10月19日(金)	11月12日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	9月28日(金) 18:00~20:30 開場は17:30~	次月号にてご紹介
場所	神奈川中小企業センター 5階 異グ連事務所	小田原市第三区公民館 小田原市栄町1-16-41 (駐車場はありません)	神奈川新聞社 横須賀支 社5階会議室 横須賀市小川町21-9	神奈川中小企業センター 5階 会議室 異グ連
連絡先		異グ連(島津、吉池、)	異グ連(八幡、鶴野)	(織方、篠原、坂本、杉本)
内容	原則第一・第三金曜日 (17:15~19:30)	「森から海につながる物 語~森の歴史と西湖地域 の森の再生に向けて~」 小田原市役所 経済部 管理監:永井 壮茂 氏 参加費:1,000円	「賢い電力の利用」 (有)クリタ 栗田 篤 氏	参加費:1,000円

事務局のコーナー

<緊急 求人募集!!> 常勤保育士1名、勤務地:川崎市高津区周辺 連絡先:サポート倶楽部友の会

TEL : 0120-60-3040 (千葉 宛)

夏の暑さも徐々に薄れ、夜になると秋の虫の鳴き声も聞こえてくるようになりました。この季節、果物など実りのある作物が特に美味しくなる季節です。私の子供の頃は山に栗拾いにいたり、キノコをとったりと自然の恵みを感じながら生活していたものです。ところが今ではこういった事をする事もなく現代社会の中にどっぷりつかっている、というのが多くの方の現状ではないでしょうか?自然をみつめ、風を感じ、大地の恵みに感謝しながら1日を過ごしてみる。そんな経験や体験も少なくなりつつある今、世の中には「うつ」やその他の精神疾患も増えてきています。過ごしやすい季節に入りますので、たまにはハイキングなどしながら「頭の衣替え」をされてみてはどうでしょうか。ではまた10月にお会いしましょう。

「かながわ異グ連ニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」となります。お気軽にご投稿下さいませ。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いません。

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masahito@ab.bb-east.ne.jp



神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②④荒 直孝 ③⑤村田和彦 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】①愛賢司②③④⑤杉本 明子(芝)

【木】松井 利夫 【金】①芝③村上②④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

より良い紙面にしていくため皆様からの投稿、ご意見をお待ちしております。お問い合わせ、連絡先は下記の通り。

(会報編集担当) mail masahito@ab.bb-east.ne.jp 宗和(そうわ) 携帯:090-5556-8238

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel:045-633-5142 Fax:045-633-5194